

【活動名】 関門海峡の魅力発信および歴史を後世に繋ぐ事業

【個人名】 牟田 裕

【団体概要】

① 設立目的

命の海である関門海峡。かつては多くの戦いの海だった関門海峡が、現在は平和の海へと変わった。歴史を敬い、先人たちの精神に心を重ね、過去と未来を繋ぐ「命」をテーマとしたイベントを企画制作し、感謝や感動と共に、人と人との心の絆を深く繋ぐ機会となる活動としたい。

② 設立年月日:平成 24 年

③ 会員数:1人

【活動内容】

① 活動目的

命の海・関門海峡の歴史文化から生まれる命のメッセージを活動を通じて発信して、音楽という無形の表現手段を通じて、後世に繋げるために活動を行う。

② 活動内容

[馬関戦争 1864 メモリアルコンサート北九州公演]

・フランス水兵戦死者慰霊碑 9月26日(日)開演 14時~15時 参加者 100名

馬関戦争で亡くなられたフランス水兵慰霊碑に人が集い、関門海峡での戦いで亡くなられた戦死者への慰霊コンサートを行い、供花し、平和に感謝し未来に歴史を繋ぐ時を市民と共に共有した。

[港町の魅力~世界に繋がる港町]

・三宜楼2F 大広間 10月9日(土)開演 14時~15時30分 参加者 50名

門司港下関と長崎。同じ港町繋がりで交流を深め、歴史視点から新たな港町の在り方を考える契機とする目的で行った。長崎と門司との共通点および「港町はいつも世界を向いている」というゲスト講演の桐野耕一氏のお話により、港町の魅力等を再認識できる機会となった。後半は関門と長崎のソプラノ 2名の着物によるオペラコンサートで、港町門司港の栄華を誇った三宜楼の魅力を引き出し、其々の当地歴史オリジナル曲も披露するなど歌を通じた港町歴史文化のコラボレーション企画ともなった。

[港町浪漫コンサート]

・JR九州 門司港駅 10月10日(日)

・夕方部 17時~18時 参加者200名

・夜部 19時~20時 参加者 150名

国の重要文化財である門司港駅を活用し、プロ歌手によるオペラコンサートを開催。港町門司港の新たな側面の魅力を引き出し、市民や観光客が気軽に楽しみ、門司港駅の美しさをオペラとのコラボレーションを通じて門司港の魅力を再確認する機会となった。また、関門海峡の歴史も紹介しながらコンサートを進め、港町門司港の特色を生かしたオリジナルのコンサートとなった。

[平和と祈りの合唱コンサート]

・世界平和パゴダ 11月3日(水・祝)開演 14時~15時

・参加者 50名(別途出演者 25名)

200万人が出征した港・門司港を見下ろす山頂に建てられた世界平和パゴダに於いて、慰霊と平和祈念の合唱コンサートを開催。門司港の歴史の側面を再認識し「戦争は2度と起こしてはいけない」という戦争経験者のメッセージを発するパゴダと共に、門司港から人々の心の調和ハーモニーで合唱(合

掌)し、平和を想い発信する機会となった。

③ 活動成果

今年度の活動を通じ、「パゴダの建立意味を知り、出征の港・門司港の戦争の歴史に触れ、異なる見方で門司港の街を見るようになった」「門司に生まれ育ったのにフランス水兵慰霊碑を今まで知らなかった」「コンサートで関門海峡の歴史の影の側面を知り平和を想う厳かな時間を過ごせた」「コロナ禍の中、オペラの歌声と門司港駅の美しさに感動した」など、多くの来場者から反響や好評のお声、次回への期待の声を頂いた。活動趣旨である、「命の海・関門海峡の歴史文化から生まれる命のメッセージを活動を通じて発信し、市民の郷土愛を育み、そこから繋がる人と人の心の絆から生まれる賑わいに繋げ、音楽という無形の表現手段を通じて、貴い歴史文化資源を活かし、郷土の魅力を発信し、地域の未来に貢献するために活動の歩を進める」ことに繋がった。市民と共に郷土の財産である関門海峡への想いを広く共有できるような発展的な活動が実現出来、本年度の活動で大きく飛躍的に次に繋がる機会となった

【今後の活動予定・団体のPR】

牟田裕 企画プロデュースおよび出演予定

2022年4月3日予定 六連島 支援「灯台と桜のコンサート」(仮題)

2022年5月8日 海峡オペラティックナイト in 下関

2022年9月予定 馬関戦争「メモリアルコンサート」(第2回) フランス水兵戦死者慰霊碑

2022年10月予定 港町浪漫コンサート(第2回) 門司港駅

2022年11月予定 R.H.ブラントン生誕180周年記念「部埼灯台コンサート」(未決定)

2022年11月予定 関門海峡の偉人「僧清虚」青浜海岸で試験的な音楽劇短編の野外上演

【連絡先・ホームページアドレス・SNS】

ホームページ

牟田 裕 Crossover Singer - 牟田裕 (jimdofree.com)

